健 康 発 第 12 号
令和５年 10 月 26 日

公益社団法人日本認知症グループホーム協会
会長　河﨑　茂子　殿

中央労働災害防止協会
健康快適推進部長

介護職員の身体的負担を軽減するための取組に関する支援のご案内と
アンケートへのご協力のお願い

拝啓　貴会ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素から格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、中央労働災害防止協会は、事業場の安全衛生活動を支援することによって労働災害を防止することを目的として設立された団体であり、経営理念として「全ての働く人々に安全・健康を　～Safe Work,Safe Life～」を掲げ、様々な事業場の安全衛生活動の支援を実施しております。

先般、国が定めた令和５年度を初年度とする第 14 次労働災害防止計画では、「介護・看護作業において、ノーリフトケアを導入している事業場の割合を 2023 年と比較して 2027 年までに増加させる。」ことが目標として示され、事業者は「職場における腰痛予防対策指針」（平成 25 年６月 18 日付け基発 0618 第１号）を参考に、作業態様に応じた腰痛予防対策に取り組む。」こととされています。

今般、中央労働災害防止協会が厚生労働省から受託して実施する「第三次産業における腰痛予防対策推進事業」において、介護職員の身体的負担を軽減するための取組（以下「腰痛予防」という。）に関する支援を希望する事業場に対して無償での支援を実施するとともに、腰痛予防に関するアンケートを実施することとなりました。

つきましては、腰痛予防に関するアンケートの実施に関して貴会のご協力を賜りたく、具体的には、別添の依頼文書を貴会会員の皆様にお知らせいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、大変恐縮ですが、令和５年 11 月２日（木）までに貴会から別添の文書をお知らせした会員数を弊会までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

敬具